

議会だより

No. 130

令和7年11月1日 発行
(2025年)

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



表紙の作品

第6回観光協会観光フォトグランプリより

題 名『無病息災獅子が舞う』

撮影場所：葛貫住吉四所神社

コメント「毎年10月上旬に五穀豊穡・
疫病退散を祈り、獅子舞が
奉納される」



撮影者：大谷木 春男さん

議会の声を動画で届けます！
QRコードから視聴可能に！

「この質問、気になる！」そんなときは動画へ

毛呂山町議会YouTube
チャンネル登録も
お願いします



※通信料が発生します

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

令和6年度 決算

一般会計

122億円はどう つかわれた？

9月定例会

令和7年9月議会定例会は、9月1日から9月18日までの18日間の会期で開催されました。今定例会に提案された案件は、専決処分の承認1件、条例の一部改正8件、補正予算4件、決算の認定6件、未処分利益剰余金の処分2件、財産の取得1件、人事1件、報告2件の合わせて25件が上程され、100条委員会の委員長報告もあり、慎重なる審議をいたしました。
一般質問は、議員13名が登壇し、活発な質問が展開されました。



土木費

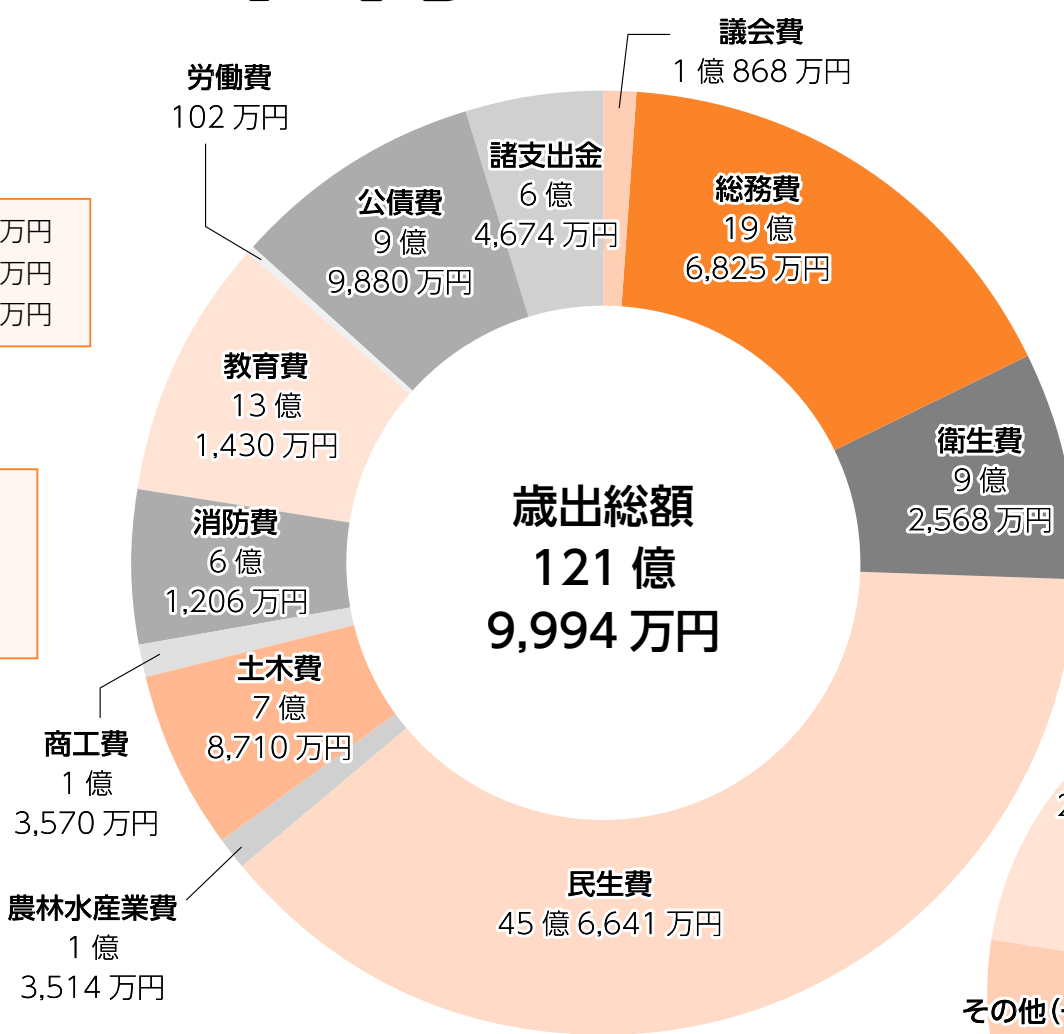
新川橋橋梁長寿命化修繕工事	3,907万円
旭台地区雨水排水対策概略設計業務委託料	330万円
町内全般道路修繕工事	2,514万円

消防費

常備消防費（西入間広域消防組合負担金）	
※消防組合の運営等に係る費用	5億5,176万円
非常備消防費（西入間広域消防組合負担金）	
※消防団の運営等に係る費用	4,033万円

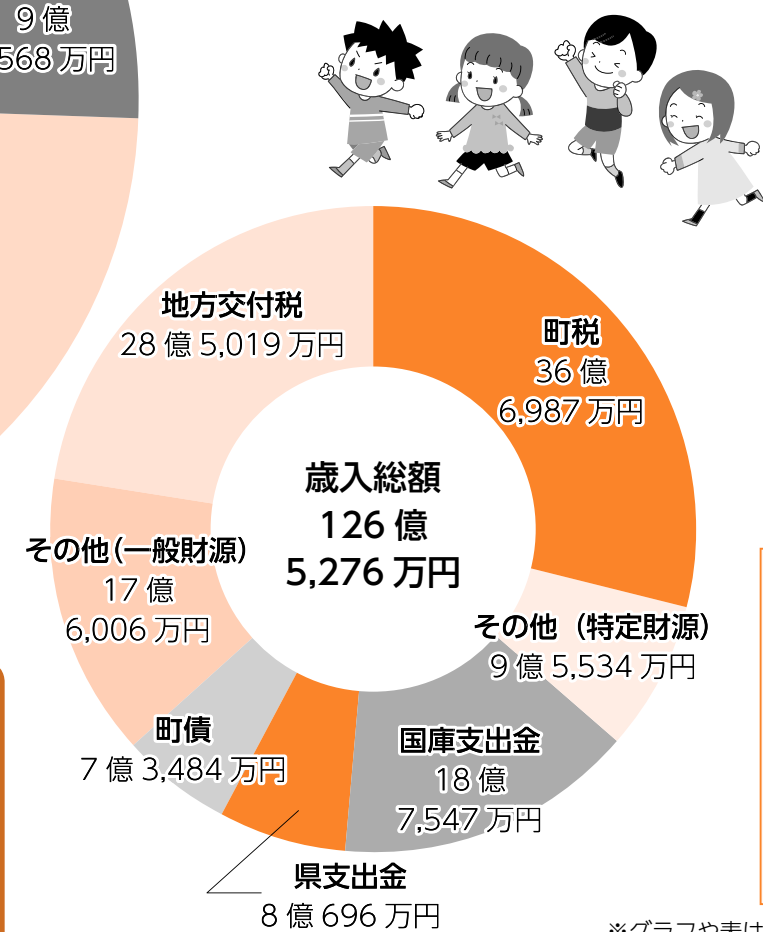
教育費

小中学生英語検定受験料補助金	47万円
小中学校体育館空調設備設置工事	2億6,568万円
総合公園照明LED化工事設計業務委託料	898万円
3小学校の体育館内トイレ改修工事	5,999万円



総務費

毛呂山町定住促進補助金	1,890万円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	3億5,519万円
庁舎外壁改修工事	2億1,607万円
防犯カメラ設置工事	363万円



民生・衛生費

福祉会館昇降機設置工事	6,592万円
放課後児童健全育成事業委託料	5,856万円
保育所等給食費無償化事業補助金	1,100万円
児童館遊具新設工事	165万円
手話講習会委託料	21万円
自動車燃料費補助金	36万円
家庭用再生可能エネルギー設備等設置補助金	105万円

後期高齢者医療特別会計決算

反対します
小野 浩 議員

窓口負担が2割になり「病院に行きたいがお金が大変だから我慢していたらひどくなってしまう」という町民の声を聴く。やさしいまちづくりのための町当局の行政努力は認めたいと考える。一方、国は大企業から応分の法人税を徴収するなどして地方自治体の補助を強化せよという思いを込めて決算案に反対する。

一般会計決算

賛成します
佐島 啓晋 議員

令和6年度決算については、町の監査委員からおおむね適正に執行されている旨の意見書が提出されている。さらに国の交付金を活用して物価高騰対策の努力が見られた点は評価できる。今後必要となる公共投資の検討をお願いすると同時に超高齢社会の中で、介護の問題も含めて高齢者が安心して暮らせるまちづくりを期待する。

賛成します
千葉 三津子 議員

全国的な物価高騰で本町の住民生活にも影響が出た一年だった。町では、経済的負担軽減の、給食費無償化事業の実施、紙おむつ処分事業の開始や遊具等の整備をして頂いた。福祉会館の昇降機の設置や小・中学校の体育館へのエアコン導入で避難所環境の充実を図って頂いた。今後も少子高齢化対策に対応した事業展開に期待する。

反対します
長瀬 衛 議員

庁舎外壁改修工事は、本来必要としなかった改修が行われ貴重な財源が失われた。川角駅周辺整備は、町の自主性がなく、なし崩しに計画変更した。早く事業効果を示すべきだ。学校再編計画は住民合意や議会への説明責任を果たしていない。真摯にあるべきだ。100条委員会の設置は、町政の手続きや町長の政治姿勢が問われた。

討論
私はこう考える

※グラフや表は万円未満を切り捨てのため総額が一致しないことがあります。

特別会計別の決算		歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計		39億3,729万円	38億4,715万円	9,014万円
水道事業	収益的収支	8億6,113万円	7億1,865万円	1億4,247万円
	資本的収支	8,653万円	3億6,612万円	▲2億7,958万円
農業集落排水事業	収益的収支	4,110万円	3,907万円	203万円
	資本的収支	1,684万円	2,044万円	▲359万円
介護保険特別会計		32億4,636万円	31億3,680万円	1億 955万円
後期高齢者医療特別会計		6億 184万円	5億9,571万円	613万円

予算決算常任委員会の主な質疑

予算決算常任委員会は議長・監査委員を除く12名の議員で構成しています。 ※万円未満切り捨て

資料に基づいてその行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価するものです。

岡野 勉 議員

障害者福祉事業 自動車燃料費補助

決算額 36万円



問 自動車燃料費補助は障害者の自立を助ける重要施策だ。復活の声は各団体、個人複数議員と多方面から出されている。

答 自動車燃料費の補助は、社会生活権の拡大など充分に意義を認識している。今後は財政部局とも協議を進めていきたい。

千葉三津子 議員

防犯カメラ設置工事

決算額 363万円



問 6基の防犯カメラが設置されて合計20基となったが成果はあったのか。

答 令和6年度の警察へ提供した件数は8件だった。

問 今後、防犯カメラ設置の計画はあるのか。

答 防犯対策としては有効な取り組みだが、維持管理費も含め検討していきたい。

荒木かおる 議員

小中学校体育館空調設備等設置工事

決算額 3億2,568万円



問 費用対効果は。

答 入卒式の式典において寒さを感じることなく冬場もしっかり温まり快適に挙行することができた。夏場は現地視察で見て頂いた通り、猛暑の中でも生徒が安全にバスケットボールの授業が出来るほどエアコンの効果があった。

小野 浩 議員

いじめ問題・いじめ防止対策事業

決算額 8万円



問 令和5年度と6年度の比較は。

答 認知件数3件の増加。

問 いじめは解決したか。

答 すべて解消した。

問 重大案件はあったか。

答 なかった。

問 いじめ問題への対応が原因で退職した教員はいるか。

答 いない。

佐島 啓晋 議員

ふるさと納税業務委託料

決算額 310万円



問 返礼品の経費率が厳格化されたが、宅配料金の値上がりへの対応はどうか。

答 令和6年度から返礼品に加えたゴルフ場利用券は、利用も多く送料もないため、引き続き注力する。

意見 ゴルフ場利用券の増加は、ゴルフ場利用税交付金の増額になる良い返礼品である。

中村 奨平 議員

家庭用再生エネルギー設備等設置補助金

決算額 105万円

※予算概要書より抜粋
令和2年10月 2050年カーボンニュートラル宣言(国)
令和3年10月 地球温暖化対策計画閣議決定
令和4年12月 山並み連携ゼロカーボンシティ宣言
令和6年3月 毛呂山町地球温暖化対策実行計画策定(約1,000万円支出済み)
中期目標：2030年までに2013年度比で二酸化炭素排出量を46%以上削減
事業目的：削減目標を達成するために、再生可能エネルギーの利用拡大及び徹底した省エネルギー化の推進について補助金の創設により促進を図る。

問 CO2排出削減の為に本事業を行ったその効果は。

答 測定していない。

意見 約1,000万円を掛けて温暖化対策実行計画を策定し、その一環の事業であるはず。予算時にも削減効果を謳っていたはずであり、お金を出して終わりでは、ただのバラマキだ。

ずばり、ココが聞きたい！



667項目の
質疑あり！

決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに、各種

堀江 快治 議員

庁舎外壁改修工事

決算額 2億1,607万円



問 庁舎外壁改修工事は着工後すぐに工法変更が行われ、通常では考えられない迷走を重ねた事業であった。設計でのアスベスト処理や工法選択にも不透明な点が見られ、結果として莫大な予算を費やし理解ができない。町の見解を伺う。

答 今後の工事に生かしたい。

長瀬 衛 議員

標準学力検査委託料

決算額 39万円



問 学校再編計画は住民合意に至っていない。統廃合を前提とした予算は時期尚早とし、議会が「準備委員会費用」を修正可決しているが、粛々と進めており、議会軽視ではないか。

答 小中一貫教育合同研修会で、今後の一貫教育の充実に向け、話し合っている。

小峰 明雄 議員

3小学校の体育館内トイレ改修工事

決算額 5,999万円



問 川角・光山・泉野小学校の体育館内トイレ改修後、学習環境の改善等の検証は。

答 トイレの洋式化により、児童が抵抗なく体育館内トイレを使用するようになった。また、床の乾式化により清掃がしやすくなり衛生環境が保たれ快適なトイレ空間になった。

佐藤 秀樹 議員

庁舎外壁改修工事

決算額 2億1,607万円



問 当初、アンカーピンネット工法が一番不安であるとの説明だったが、工事が難航したら、今度はそのアンカーピンネット工法が一番良いと変更した。とても賛成できなかったが如何か。

答 今後は納得のいく説明ができるように事前調査を行っていく。

澤田 巖 議員

手話講習会委託事業

決算額 21万円



問 令和6年度受講者が11名基礎編が8人。毛呂山町では手話言語条例が制定され7年。町民への更なる周知が必要ではないのか。

答 今年東京でデフリンピックが開催され手話への関心は高まっている。今後も手話に対して周知を高めて差別のない町づくりを目指す。

下田 泰章 議員

西入間広域消防組合負担金

決算額 4,033万円



問 令和6年度末、活動実態のない消防団員に年俸が支給されていた。消防組合に負担金を支出しているが、その事実を把握していたか。

答 報告がなかった。

観 真面目に活動している団員の士気を損なう。事実関係を確認し適切な対応を求める。

22回に及ぶ百条委員会終結!!

委員会の概要

(1) 委員会設置の決議

「農業委員の任命過程の事務調査に関する決議」

令和6年第3回（9月）定例会において賛成多数により可決

(2) 委員会の名称及び構成

- ①名称 農業委員の任命過程調査特別委員会
- ②定数 7名
- ③委員長 長瀬衛
- ④副委員長 佐藤秀樹
- ⑤委員 堀江快治 高橋達夫 岡野勉 荒木かおる
平野隆（令和7年5月30日まで）
澤田巖（令和7年5月30日から）

調査に要した費用

令和6年度

経費内容	金額
委員会録調整委託料等	267,241円

令和7年度

経費内容	金額
委員会録調整委託料等	114,770円



委員長報告 に賛否！

- ・ 百条委員会 可否同数 委員長裁決で可決
- ・ 本会議 賛成多数で可決

委員長報告に対し討論

反対します

荒木かおる 議員

伝家の宝刀と言われる百条委員会の報告書が全会一致に至らず毛呂山町議会の意思として公表されることは未来に禍根を残す。報告書は長瀬委員長長の懲罰の事実は一切ふれていない。任命排除は請願提出者の憶測に過ぎず「カッター野菜残渣」と任命との関係性は乏しいためその箇所は全面削除が相当。以上の理由から反対する。

高橋 達夫 議員

委員長報告に対する100条委員会での賛否は、賛成3、反対3であったが請願の紹介議員が委員長のため委員長裁決で賛成となった。100条委員会の審議は特に公平性、中立性が求められるにも関わらず、本来の問題とは関係ない請願者の思い込みである野菜残渣問題等の件を取り上げであり、公平性が欠けるため反対する。

賛成します

佐藤 秀樹 議員

意見書の提出により事態が発生したことは事実であり、意見書は前事務局局長が作成したものと判明致しました。何故そのような行動をとったのか、原因に対し、当人が証人尋問に出頭しなかった為、これ以上の調査は委員会では困難であるとの結果となりました。尚、詳細はおおかた委員長の報告とおりであり、賛成討論を致します。

堀江 快治 議員

特別委員会からの報告書は、調査の限界がある中で真相究明のために責任を持って調査した結果であり、町の農業行政の透明性と発展を願って提出されたものである。行政運営は法令遵守の基、常に公平・公正な姿勢で取り組まなければならない。今後本提案を教訓として町民から信頼される農業行政を願い賛成するものである。

委員長報告可決!! 設置より1年

【総括】

当委員会は、農業委員の任命過程に関する事項を地方自治法第100条に基づき、より深く調査を行うために設置された。調査事項については、意見書の提出に至る経緯、評価委員会の意見報告書等を中心に調査を行った。

意見書は、前農業委員会事務局長が公用パソコンで作成したものであった。しかも、一農業委員が提出したものであるが前農業委員会会長は一切関与していなかった。最大の疑念であるそこに至った経緯及び理由については、前農業委員会事務局長が当委員会に出頭しなかったため、証言を得ることができず、調査事項の解明には至らなかった。さらに、前農業委員会事務局長の本会議等における虚偽答弁についてもそこに至った理由等の解明ができず疑念が深まる一方である。

議会は、執行部が虚偽の答弁を行うことは想定していない。前農業委員会事務局長の虚偽答弁は、町民並びに議会に対する背信行為であり、町民並びに議会と町との信頼関係を損なう重大な問題である。この虚偽答弁の責任の所在を明確にするとともに、再発防止及び信頼関係の回復に努めることを強く望む。

また、町長は、意見書の作成に係る職員の一連の行為は、代筆であることから法的に問題ないとの認識である。当委員会においても法的に問題ないことは理解する。しかし、意見書が提出されるまでの経緯が明らかになり、前農業委員会事務局長が行った行為は、公務員として倫理的に問題があったと言わざるを得ない。公務員は、職務を遂行する上で守るべき道徳的基準や行動規範があり、全体の奉仕者として、公正で誠実な職務執行を行い、町民の信頼を損なわないよう行動することが求められている。町長は、法的な観点だけでなく、倫理的な観点を踏まえて公正さと誠実さをもって行政運営に努めるべきである。

農業委員候補者の選考過程において、評価委員会が適切に機能したとは言い難い。農業委員候補者の選考に当たっては、選考方法や選考基準を明確にし、透明性の高い選考プロセスを構築することが重要である。このことから、評価基準を定めるなどの規定等の見直しを速やかに実施すべきである。

法令順守は行政の最大の責務である。産業廃棄物処理に関する問題に町長やその関係者が関わっていたことが判明した。町の責任は、快適な住民生活を守り、町の環境保全に向けて取り組むことであることから、町長の法違反と思われる行為が今後の大きな課題とならぬよう、原因究明と責任の所在を明確にすることを強く求める。

農業委員候補者の選定に当たっては、町長の裁量によるものであり、その権限は大きいものである。しかし、本件の任命手続きが適正であるかの判断については、前農業委員会事務局長が当委員会に出頭せず、証言を得られなかったため、事実関係の十分な解明には至らなかった。当委員会の調査では限界があり、最終的な判断は司法に委ねるほかと言わざるを得ない。

結果的に前農業委員会事務局長の主導によって意見書が提出され、一人の農業委員候補者が恣意的と思われる公的機関の手続きによって、自らの意に反して農業委員候補者から排除されたことは、行政事務手続きとしてあってはならない。

今後においては、本事件の調査によって明らかとなった課題を精査し、農業委員の任命事務における問題点の早急な改善を求めるところである。そして、法令順守を徹底するとともに公平公正の原則に従い、町民から信頼を得られる農業行政を進めていくべきである。

最後に、当委員会の調査にご協力を頂いた関係各位に感謝を申し上げ、調査報告とする。

9月議会ではこんなことが決まりました

条例改正

旭台保育園の入所定員が90名から65名に変わります。

主な質疑

Q これにより待機児童は発生しないのか。

A 出ないものと考ええる。

Q 保育士が減るのでは。

A 法定人数であり、加配で補充するので減らない。

Q 定員を減らすと入園しにくくなるのでは。

A 定員を削減する2歳以上は、実績から定員以下の入園見込のため受入れは問題ない。

討論 反対します

岡野 勉 議員

入所児童の定数に関して、減数に当たる要因が導きだせない。参考資料の表を見て思うのは、保育士の確保が重要であり、町長も言っていた保育士の待遇改善が必要と思われる。本町のさらなる安全・安心な保育所を実現するため、保育士の確保を期待する。



補正予算

今回の補正では「定住促進事業」や「朝のこどもの居場所づくりモデル事業」等、総額3億7896万円が予算計上されました。

主な質疑

Q 定住促進予算880万円の増額理由は。

A 申請を予定している23件相対分の増額をお願いする。

Q 朝の居場所づくり事業のアンケート結果はどうか。

A 町内保育所等に通う年長クラス保護者の53%が「利用したい」と回答している。

Q 中央公民館の補修工事の内容は。

A 空調工事、展示室の補修工事等。

条例改正

職員が仕事と育児を両立しやすいするため部分休業の取り方が選べるようになりました。

討論 賛成します

小野 浩 議員

教員時代、育児休業等の条例がない時、不本意な退職をしていった職員を見てきました。毛呂山町も本条例改正により、子育てと仕事の両立を支えることに繋がることを期待し、賛成討論とします。

7月臨時会ではこんなことが決まりました

補正予算

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の増額措置を受け、町では介護サービス施設や医療機関等への支援金として、2590万円の補正予算が計上されました。

主な質疑

Q 町ではこれまでも医療や福祉介護施設に対して支援金を支給しているが、関係者からの意見を把握しているのか。

A 埼玉医科大学病院からは病院食の食料品価格や電気代、人件費が高騰している中で安定的な地域医療体制を確保し、継続していくためにとても助かっているという感謝の言葉を頂いている。

Q 町内のクリニック等が今回対象になっていない理由を伺いたい。

A 本当は幅広く支援したいのだが限られた財源のため、今回は入院病床をもっている所を強化した。

Q エアコン、ガス、電気にも支援をしてもらいたいという町民の声を聴く。町はそちらの方の支援も考えるべきと思うが町長の考えは。

A そういった話は伺っている。限られた財源で難しいためクールスポットを紹介しているが、各担当課に町民の方からの相談があると思う。これからもそういった情報（町長）に届く体制づくりに努めていきたい。

討論 賛成します

小峰 明雄 議員

町内の福祉施設や介護サービス施設をはじめ、入院病床のある医療機関に対して、現在の物価高騰への対策として町が支援をする内容であり、本町が目指している医療と福祉のまちづくりに繋がるものと考えます。今後も、医療と福祉のまちづくりの実現に向けて、町として全力で取組んで頂くことを期待し、私の賛成討論とします。



一般質問

町政を問う!

～13名が登壇～

- 難聴高齢者への支援
- 教育・子育て環境の充実
- がん患者への支援
- 廃食油回収事業
- 山間部の土砂災害対策

小峰 明雄

- 外国人転入者へのごみ対策
- 要介護認定の2から3の基準の明確化
- 小中一貫校によるPTA役員の負担減

佐島 啓晋

- 学校統合に関する国庫補助
- 本町を取巻く諸課題

堀江 快治

- 町バスの利用範囲の拡大
- 豪雨被害への対策
- 町の観光政策

荒木かおる

- 毛呂山町農業政策
- 鳥獣被害に対する取り組み
- 若者の定住促進対策

佐藤 秀樹

- 安全安心で持続可能な地域づくりと地域活動への支援

長瀬 衛

- 日本一やさしい町を目指して
- 選挙を身近に感じられる取り組みを
- 今後の鎌北湖

千葉三津子

- サギによる生活環境被害対策
- 中山間地域の不法投棄対策
- 地域経済の活性化
- 歯科口腔保健の推進

下田 泰章

- 小中一貫校計画
- 谷ヶ跨水路
- 将来世代に負の遺産を残さない財政運営

中村 奨平

- もろバスのバス停等へのベンチ設置の進捗状況
- 保険証
- 学校統廃合

小野 浩

- 減税政策と町への財政の影響は
- 参議院議員選挙の結果

高橋 達夫

- 学校統廃合
- 道路行政の充実

岡野 勉

- 終活セミナー等
- リチウムイオン電池回収

澤田 巖

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。



難聴高齢者への補聴器購入費用の助成は町独自の支援を検討



小峰 明雄

問 連続120回目の一般質問。

中学校に入学する生徒を対象に制服を全額無償化、ご見解は。

答 研究していく。

問 小学校に入学する児童の保護者を対象に授業の見学会は。

答 他の自治体を参考に検討。

問 特別支援学級・通級指導の現状と課題は。

答 学校支援員の増員と通級指導教室の設置を検討。

問 身体障害者手帳の交付対象とならない難聴高齢者に対し、補聴器購入費用の一部助成は。

答 参考にして町独自の支援を検討。

問 民間保育所等に対して県の基準では対象外になる支援が必要な発達が気になる未就学児に對しても支援は必要と考える。町独自の支援等、ご見解は。

答 今後、必要な支援を検討。

問 民間保育所等に対し、県の補助金が今年度で廃止となるようだが、支援は継続するのか。

答 継続の方向で財政と協議中。

問 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

答 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

問 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

答 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

問 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

答 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

問 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

答 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

問 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

答 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

問 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

答 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

問 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

答 現在の奨学金返還支援金額の上限を職種に応じて上限金額の改善を図る事も、保育士の人材確保に、つながると考えるが。

問 がん患者への支援、医療用ウィッグを作るために切った髪を寄付するヘアドネーション活動の周知は。

答 治療中の子どもたちの支援のため周知に努める。

問 てんぷら油などの廃食油の回収事業で、持続可能な循環型社会の形成は。

答 研究していく。

問 大谷木地内の地滑りは、未だ現状のまま。林道権現堂線は、斜面損壊等があるが、土砂災害対策等は。

答 適正な林道の維持管理に努めていく。

問 適正な林道の維持管理に努めていく。

答 適正な林道の維持管理に努めていく。

問 適正な林道の維持管理に努めていく。

答 適正な林道の維持管理に努めていく。

問 適正な林道の維持管理に努めていく。

答 適正な林道の維持管理に努めていく。

問 適正な林道の維持管理に努めていく。

答 適正な林道の維持管理に努めていく。



補聴器購入費用の一部助成、早期支援を

外国人転入者に対するごみ対策は

信頼関係を築き、ルールを理解してもらう



佐島 啓晋

問 ここ5年間の外国人転入者数は何人か。

答 令和2年が119人、令和6年は276人。

問 外国人によるごみ問題で、

自治会等からの苦情や相談は増えているのか。

答 令和5年度は4件、令和6年度は9件、苦情の件数は年々、増えている傾向となっている。

問 外国人の違反ごみは、習慣の違いや文字が読めないことが理由と思われるが、その対策は。

答 職員が直接訪問して、分別方法や収集日について個別に説明している。英語以外の多言語

に対応したマニュアルの作成を埼玉西部環境保全組合に要望している。対面での説明で、信頼関係を築き、より確実にルールを理解してもらう。

問 介護認定が2から3にならず特別養護老人ホームに入居できないという苦情がある。

答 常に介護が必要で、住居生活が困難な高齢者への支援に重点を置くため、平成27年度から入所要件を引き上げた。

問 平成27年度の改悪が、不公平感を与えているが、在宅介護者への負担軽減策は。

答 特別養護老人ホームなどへ

のショートステイは、介護をしている家族の体調不良や旅行、仕事などの際に要介護者を施設で受け入れている。令和6年度は延べ705人が利用している。

問 小中学校の生徒数の減少は、保護者の減少にもなり、PTA活動の負担が大きくなっている。小中一貫校の実現により、母体を大きくすることで、役員の負担減にならないか。

答 各校で行っていた活動や会計処理等の事務作業が集約でき軽減につながる。



ごみ対策から多文化共生社会を！

少子化が加速する中、ハコモノ行政は理解できない

学校編成計画を進めていきたい



堀江 快治

採択のケースが多発しているが、本町への影響は。

答 厳しい状況が続くため、町負担の軽減対策を検討していく。

問 川中区の施設一体型小中一貫校の開校年度は。

答 令和11年度を目標。

問 少子化のスピードは進んでいく。今後の児童・生徒数の推移を分析すると開校後すぐに既存の川角中学校の教室数で足り

る計算になる。財政が厳しい中で新設校舎の建設等は到底理解できない。

答 学級数は減少するが、既存中学校だと低学年の改修が必要。

問 教育は10年、20年先を見えて進めるべきである。本町の基礎学力の現状を見ると、今こそ教育の自身の充実が必要では。

答 基礎学力の向上は最重要課題と認識。

本町を取巻く諸課題

問 少子化対策が求められている中で、今後の町の財政運営について伺う。

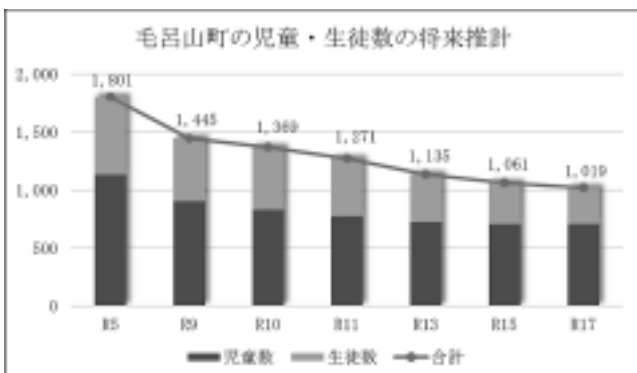
答 持続可能なまちづくりの観点から、少子化対策を最優先に掲げて健全な財政運営を継続していく。

問 多額の予算が伴う事業選択についての町の説明責任について伺う。

答 議会や住民との信頼関係が第一である。事業計画や効果等について適切に対応していく。

問 事業着手してから塩漬け状態となっている葛貫地内道路改良工事等について町はどう考えているのか。

答 様々な状況変化がある中で進めていきたい。



児童生徒が減少していく中で、新設校舎の建設等には理解ができない

公用バスの利用拡大を

答 使用率の向上に努める



荒木かおる

問 町所有の大型バスは使用用途に制限があることは承知しているが、多くの住民に使用して頂くことも大切。利活用、使用率向上の見解は。

答 公用バスは、行政目的達成のため町が主体的に使用するもので、使用範囲は法令等により限定されている。利用範囲は、町や一部事務組合、町等が委嘱した委員会等の事業や行事に限定され、利用実績は令和5年の45回に比べ、令和6年は71回。今後は事業や行事を企画する各担当課及び町立小中学校や関係団体等と調整を図り使用率の向

上に努めて参る。

問 町で実施している職員招集訓練の状況や役割分担、避難所運営等、町の防災全般における現状と課題は。

答 職員非常参集訓練を令和7年3月21日に実施。自宅から徒歩、自転車、バイクにより非常参集するまでの時間を計測集計した結果、発災後約30分程度で、災害対策本部を設置することができ、災害対応に取り掛かることができたものと確認できた。しかし、実際の災害時は職員も被災することもあり、訓練結果通りに参集できないことも考え

られる。参集できた少人数の職員で、如何に初動体制を構築するかが課題。

問 町の観光事業の現状と今後の観光政策は。

答 ①自然を生かした観光施策。②歴史文化財を生かした観光施策。③イベントを絡めた観光施策。この3つの柱を中心に観光施策を検討。駐車場が狭い、公共交通が使えない等、様々な要因から課題の解決が進んでいないのが現状。町の様々な資源を生かした観光施策の充実に努めて参る。



多くの町民が利用できるバスに！

農業経営基盤に対する支援策は

答 計画をサポートし伴走支援を行う



佐藤 秀樹

問 日本の農業における課題は高齢化などに伴う担い手の減少、耕作放棄地の増加、そしてTPPによる競争の激化である。国が掲げた人・農地プランも同様

の理由により、7月には地域計画に変更された。農業は生産だけでなく、加工・流通・消費に至るまでの一貫した流れをもつて町としての農業政策の構えが見えてくるものと思う。以上の観点を踏まえ、今後の政策としてどこから手をつける考えなのか伺う。

答 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に従い、

認定農業制度や認定新規農業者制度を運用している。

問 鳥獣被害に対する取り組み

答 認定農業制度や認定新規農業者制度を運用している。

問 農業の振興と鳥獣対策は表裏一体であり、農業における地域計画を立てる上で同時に進めていかなければならない。今後町としてどのような鳥獣対策を進めていくのか伺う。

答 今後も箱わなを増やすなどの対策を講じ、しっかりと鳥獣捕獲を実施していく。

問 ICT技術の活用やゾーニングによる鳥獣保護管理など、中長期的な計画をどのように考えているのか。

答 I C T技術の活用やゾーニングによる鳥獣保護管理など、中長期的な計画をどのように考えているのか。

問 今後の箱わなを増やすなどの対策を講じ、しっかりと鳥獣捕獲を実施していく。

答 今後も箱わなを増やすなどの対策を講じ、しっかりと鳥獣捕獲を実施していく。

問 I C T技術の活用やゾーニングによる鳥獣保護管理など、中長期的な計画をどのように考えているのか。

答 I C T技術の活用やゾーニングによる鳥獣保護管理など、中長期的な計画をどのように考えているのか。

えていくのか。

取り組んで参る。

人・農地プランから地域計画へ

これまで、国策の観点から人・農地プランを策定・実行してきたが、市町、農業者や人に寄り添った計画により、農業の持続性や地域活性化が図れる。地域の農業者の意向に寄り添った計画が実現する。農業者の意向に寄り添った計画が実現する。

国策の観点から人・農地プランを策定・実行してきたが、市町、農業者や人に寄り添った計画により、農業の持続性や地域活性化が図れる。地域の農業者の意向に寄り添った計画が実現する。農業者の意向に寄り添った計画が実現する。

人・農地プラン（地域農業の発展のプラン） → 地域計画（地域農業の発展のプラン）

農業者が中心となり、市町や農業者、生産者などにより策定・実行される農業者の意向に寄り添った計画。地域農業の発展のプラン。農業者の意向に寄り添った計画が実現する。農業者の意向に寄り添った計画が実現する。

出典：農林水産省ホームページ
農水省で変更された地域策定マニュアル

地域活動力の衰え対策は町の喫緊課題である

答 自治会活動の停滞は、共助の機能低下となる



長瀬 衛

問 高齢化の進展によって、災害時や高齢福祉対応等、地域コミュニティの強化が求められているが、自治会加入率の低下や担い手不足のために町内自治

会の活動力が急速に衰えている。自治会がしっかり機能し、活発な住民の交流により地域防災力や地域の繋がりが強化されなければならぬ。地域コミュニティの実態を把握する上で、町全体の自治会加入率71%は疑問である。自治会によってアパート住民への対応が違っており、統一すべきだ。区設置規程により区長に広報・回覧等の協力業

務がある。脱会者に広報の配布や回覧が行われていない地区があるが、規程に未加入者を除くとはなっていない。また、一部地域で自治会脱会者のゴミ出しを制限している。公平・平等な住民サービスという意味で疑問である。自治会組織が住民一体となつて機能しないと区制度は成立しない。地域の問題に町長としてしっかり対応すべき。

答 自治会は、地域住民が主体となり、活動を自主的に、協力し合う団体である。役員不足などから参加意識が低下し、自治会離れが進んでおり、共助の機能低下が懸念される。アパート住人を区登録世帯に算入する、しないについてある程度の統一性は必要な事もあるので、実態調査の上、検討したい。



今こそ、地域コミュニティの強化で防災訓練

福祉タクシー券と燃料代の選択制の導入を

答 利用実績や声を聴いて検討する



千葉三津子

問 福祉タクシー利用券の現状と改善については、令和5年12月議会で質問をしたが、障がいをお持ちの方や送迎する家族のため年齢に関係なく、個々の日

常生活に合わせて選択制にすべきと思うが如何か。
答 福祉タクシー券のほか、生活サポート事業や移動支援事業などのサービスを利用することも可能となつていて、生活圏拡大に努めている。
問 行政ニーズを的確に把握することは、町でも重要なことだ。福祉課では障がいのある18歳以上の方の、自動車燃料費助成に

対するニーズはどのように捉えているのか伺う。
答 家族及び自身が運転する自家用車が57%を占めている。タクシーや福祉タクシー、生活サポートを利用する27・7%を大きく上回っている。燃料費助成に対するニーズは一定程度あると認識している。
問 近隣自治体では既に選択制を実施しているが、当町ではご意見やご要望はないのか伺う。
答 「選択制にしてほしい」との意見は伺っているところだ。今後、調査研究していきたい。

問 町民は選挙で投票する権利がある。しかし投票行動に参加できない重度の障がいの方々もいる。投票行動へのハードルを少しでも低くするため「投票支援カード」の導入を提案するが。
答 「投票支援カード」の様式がダウンロードできるよう、検討を進めていく。
問 現在の鎌北湖は町の観光名所としては寂しい状況だ。民間の力を借りて、官民連携で価値を上げる取り組みを願いたいが如何か。
答 官民連携で鎌北湖の魅力をアピールしていきたい。

選択が出来ない福祉タクシー券と燃料代

サギ被害が深刻化・環境整備で繁殖防止を

答 鳥獣保護と被害対策の両立を目指す



下田 泰章

問 市街化区域でサギの鳴声・糞害・悪臭などの生活環境被害が深刻化している。営巣が始まる前に環境整備を徹底すれば繁殖を未然に防げるという他自治

答 体の成功事例もある。行政・自治会・地権者による「仮称サギ緊急対策協議会」を設置し、早急に対応する考えはあるか。

答 防犯カメラ8台分の補正予算を計上する。

問 具体的な対策を講じるための有効な手段であり、今後検討する。

答 物価高騰の影響で町内事業者の経営が厳しい。このような時こそ、地域経済の循環を重視し、「町内優先発注方針」や「地元経済循環推進条例」などの制度化を検討すべきでは。

問 町内事業者の優先発注について、建設工事、業務委託、物品購入などの区分を問わず、町職員が共通認識を持つことが重要。他自治体の事例も参考にしながら研究する。

歯科口腔保健の推進

問 菌と口の健康は全身の健康に関わり、健康寿命の延伸や医療費抑制に重要。町でも歯科口腔保健推進条例の制定を検討すべきでは。

答 菌と口の健康づくりは重要と認識し、各ライフステージで健診や予防事業を実施している。今後は課題を整理し、条例制定に前向きに取り組む。



来年もサギがやってくる!?繁殖阻止へ

小中一貫校通学バスの距離判定見直しを

答 今後の検討課題



中村 奨平

問 この酷暑の中、低学年児童が片道3kmを歩くのは大変厳しい状況だ。例えば、夏季のみ2km以上に変更や、低学年は通年2km以上など、柔軟な運用方法

を検討する価値があるのでは。

答 対象地域の線引きや事業費増など課題が多い。慎重かつ総合的に判断していく。

問 全国的に物価高騰や人手不足を理由に公共工事や建替事業の計画見直しを迫られている。小中一貫校計画も、想定以上の費用が掛かる場合はどのような策を考えているのか。

答 概算金額を見てから判断。

問 見てからでは遅い。少子化を理由に統廃合を行うのであり、少子化は待ってくれない。プランBやCの検討はしないのか。

答 設置など、効果的な方法の検討が必要。

問 基本的なコンセプトには変わらない、しつかり進めていく。

答 死亡事故が起きてからでは遅い。年度内にも専門家と協議を。如何か。

問 川角中学校付近の谷ヶ跨水路は今年も氾濫した。仕事帰りの車も多く、無理に通行した結果、バンパーが壊れたり、ナンバープレートが外れたり、町民の財産が毀損した。毎年軽微な対応をし、翌年の結果を見てとの答弁が続いているが、今後の抜本的対応について伺う。

答 治水対策は難しい。すぐ出来る事をやっていく。

問 今後更なる人口減少が進み、耐用年数・償還期間では人口の少ない将来世代が負担する債務は増える一方である。また、インフレが続く恐れがあり、預金だけではリスクがある。短期国債運用も検討すべきでは。

答 制約があり難しい。

保護者アンケートより抜粋

- ・スクールバスの導入範囲を拡げていただきたい。児童の登下校路の延長に伴う安全確保の為
- ・低学年はきびしいと思うので、もう少し短いキョリの児童も低学年は対象にすべき
- ・川角小までも2.5kmあり慣れた6年生でも30分はかかりました。ですので、苦林地区のスクールバスの運行も視野にいていただけると幸いです。
- ・1km以内でも希望者がスクールバスを利用できるようにお願いしたいです。猛暑や治安の悪化で登下校時とても心配です。
- ・どこかで線引きは必要ですが、スクールバスの利用範囲拡大を強く願います。
- ・雨の日も風の日も40～50分歩いて行き帰りする。そんなこと大人でもできるのだろうか？
- ・中学生の自転車通学が2kmからならば2kmでスクールバス利用でもいいのではないかな。
- ・バスのドライバーに高齢ドライバーは避けてほしい。

多く寄せられる通学バスに対する保護者の意見

もろバスのバス停等にベンチをさらに設置してほしい

答 順次、設置を行っていく



小野 浩

問 「現行の紙の保険証が令和8年3月末日まで使用できる」という情報があるが。

答 ベンチ設置の進捗状況は。安全性を確認したうえで、手続きが整ったバス停等から順次ベンチの設置を行っていく。

問 有効期限切れで失効した保険証を持参して受診した場合でも、医療機関等において資格確認できれば令和8年3月末日まで認めるとする移行期における暫定的な対応である。今後国の方針の確定による正確な情報に基づき、周知、広報を行っていく。

学校統廃合について

問 6月議会において議会には設計見積書の詳しい内訳を示すことなく、議決を急いだということだった。情報公開は業者も数量及び金額も墨塗状態だった。これは議会軽視ではないか。

答 これは当該業務委託の入札の執行前であることから毛呂山町情報公開条例第7条第2号ア及び第6条イの規定に基づき、法人等に関する情報の地位その他正当な利益を害するおそれがあるほか、町の機関が行う事務又は事業に関する情報であって当該事務又は事業の適正な遂行

に支障を来すことから、開示することができない部分であると決定したためである。

問 いつ設置条例を改正するのか。

答 年明け、1月までに概算費用を議会へ提示予定。

問 川角中武道場と川角小体育館の面積を伺う。

答 武道場は346㎡で川角小体育館は721㎡。

問 武道場にエアコンは設置されているか。

答 エアコンは設置されていない。



ベンチがあるとたすかります

消費税廃止による町への影響額は



答 年間8億4952万2千円の減収になる



高橋 達夫

問 合、町の財政にも大いに影響があるが、仮に消費税率が5%になった場合の影響額は。

答 4億6735万円となる。

問 消費税が廃止になった場合は。

答 地方消費税交付金が皆減になるため、年間8億4952万2千円の減収になる。

問 これでは確かなこれに代わる恒久財源がなければ町は成り

立たなくなる。ガソリン暫定税率廃止も言われたが、これによる町の影響額は。

答 暫定税率が廃止された場合の町への影響はガソリン1ℓあたり0・8円少なくなるため年間約360万円減少となる。

問 参議院議員選挙における町の投票率はどの位であったのか。

答 投票率は54・64%で令和4年の参議院選挙の投票率は50・21%であったので4・43%良くなっている。

問 今回の選挙の特徴は国民民主党と参政党が伸びたと言われるが、町ではどうであったのか。

答 埼玉県選出選挙では国民民主党江原くみ子候補の得票数は1676票で得票率は11・23%、参政党の大津力候補の得票数は2054票得票率は13・14%であった。比例代表選出議員選挙では国民民主党は1621票で10・82%参政党は1918票11・80%であった。



消費税減税は町財政にも影響する



町長は一体型、保護者は分離型／アンケートを／

答 私(町長)は一貫して一体型を主張してきた



岡野 勉

問 今年の6月議会で議決した「小中一貫校整備事業調査設計等業務委託」の結果公表はいつ頃か。また結果を受けた小中学校設置条例議案提出はいつか。

答 調査結果の公表は年明けになる。また、小中学校設置条例の議案提出は現在未定である。

問 なお、6月議会で昨年10月に行った「学校編成計画」に対する保護者アンケート結果、保護者が訴えた1700件を超えるコメントをそのままの文体で町HPに全面公開を要望した。これに町が応え公開が実現した。さて、このアンケートについて

て町は約77%の保護者の了解を得たと自信をのぞかせているがそれは違う。保護者の1700件のコメントを読めば反対だと気付かされる。以下が保護者の声だ。①小中学校は別が良い②今ある校舎を大切に使う③教員の減少が心配だ④小学校の通学路3km以上は厳しい⑤子ども達の声をもっと聴くべきだ。

そこで、以下のアンケートを取り、方向性を決定すべきだ。設問はまず(1)町の進める川角中学校敷地内に川角小、光山小を統合、小中一体型一貫校とする。(2)川角小、光山小学校を統合(どちらかの学校を使う)小中は別、分離型の小中一貫校とする。この設問で実施。対象は小中学生、保護者、町民とする。

答 私は、一貫して一体型を主張してきた。

道路行政の充実

問 これまでも同僚議員から要望のあった市場地区(北っ原)の県道だが、子ども達の通学路で危険だ。早急に横断歩道の設置を。

答 令和7年10月中旬の利用開始に向けて、県警、飯能県土と準備を進めている。



【川角中学校区】町民・児童・生徒が決める！



終活登録事業は今後必要となる！ 色々な観点から支援していく



澤田 巖

問 神奈川県大和市は認知症施策に力を入れている自治体の1つ。終活相談窓口「終活コンシエルジュ」が市民の個々の不安に寄り添い、それぞれの悩みに

応じて各種制度を案内し、葬祭事業者や法律の専門家を紹介している。終活セミナーを定期的に開催し多くの市民が参加しているようである。毛呂山町も導入すべきではないか。

答 令和8年度に策定する第10期毛呂山町高齢者総合計画と併せ毛呂山町認知症施策推進計画として定めていく。終活等の対策を取っている先進自治体の例

を参考にしていきたい。

問 団塊の世代が85歳を迎える2035年以降、介護者の増加に伴い在宅介護が予想される。在宅における医療と介護の連携はとても重要であると考えますが。

答 命の危険が迫った状態になると約7割の方は医療やケアなど自分で決められないと言われる。どのような医療や治療を望むのかを予め医療・介護従事者と繰り返し話し合うのが最善策。人生の最後を考えることを通じて自分を見つめ、今をより良く自分らしく生きていく前向きな終活というものを支援して

いく。

リチウムイオン電池回収

問 蔵戸田衛生センターでは今年7月リチウムイオン電池が原因の火災が発生してごみ焼却施設が破損、41億円の被害があった。今後リチウムイオン電池回収についての対策は。

答 リサイクルの観点からリサイクル業者と連携して、生活環境課窓口においてニッケル水素電池やリチウムイオン電池などの回収を行い、再資源化活動を推進している。



終活は元気なうちに対策を！

人事

◎教育委員会委員

寄崎 順子 氏

東松山市松風台
昭和30年12月生

●議案の審議結果（7月臨時会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議員名	中村 奨平	佐島 啓晋	小野 浩	下田 泰章	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かつる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	平野 隆	審議結果
議案															
補正予算	一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

●議案の審議結果（9月定例会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議員名	中村 奨平	佐島 啓晋	小野 浩	下田 泰章	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かつる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	平野 隆	審議結果
決算認定															
一般会計	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	議	認 定
国民健康保険特別会計	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	認 定
後期高齢者医療特別会計	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
水道事業・農業集落排水事業・介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
剰余金															
水道事業会計未処分利益剰余金の処分・農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一部改正															
議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例・職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例・企業職員の給与の種類及び基準に関する条例・重度心身障害者医療費支給に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
職員の育児休業等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
町立保育所設置及び管理条例	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	原案可決
専決処分															
一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承 認
補正予算															
一般会計（第4号）・国民健康保険特別会計（第2号）・介護保険特別会計（第1号）・後期高齢者医療特別会計（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
財産取得															
中学校学習用タブレット端末	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
人事															
教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意
農業委員の任命過程の事務調査	退席	×	○	○	退席	○	×	×	○	○	×	○	○	議	原案可決

町議会傍聴規則の一部を改正!!

主な改正内容

・帽子、コート、マフラーの類は着用可
決まりを守ったうえで、ぜひ議会傍聴にお越しください。

議会だよりに関する簡易アンケートを実施します!

より良い議会だよりを作るために、皆様のご意見やご要望をお聞かせください。

設問数 6問
回答期限 11月末まで



↓アンケートはこちらから



お詫びと訂正

令和7年8月1日発行の「議会だより」129号審議結果の不出頭に対する告発についての小峰明雄議員の表決内容を誤って記載しておりました。

下記のとおり訂正してお詫びいたします。

正	不出頭に対する告発について	退席
誤	不出頭に対する告発について	賛成

あとかき

株価はバブル時につけた高値を越え、史上最高値を駆け上がり、地価も都市圏を中心に上昇し、ここ数年はまさに隔世の感がある。勝ち馬に乗ることも大切であるが、その一方で他人と違う道を歩むことも大切であると説く、「人の行く裏に道あり花の山」という有名な相場の格言がある。東京都を見れば、羨ましく思うことも確かに多い。だが、あえて毛呂山町に住んでみたくなるような雰囲気、醸成、親が子や孫に近くに住んで欲しいと思ってもらえるような街づくりをすることが大切である。あの時、毛呂山町に住んで良かったねと言ってもらえるように、町民・行政・議会の三位一体となって花の未来を築いていきましょう。

中村 奨平

編集委員

委員長 下田 泰章
副委員長 中村 奨平
委員 佐島 啓晋
委員 小野 浩
委員 佐藤 秀樹
委員 荒木 かつる
アドバイザー (議長) 平野 隆